

WO 2005/041344 A1

(12)特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19)世界知的所有権機関
国際事務局(43)国際公開日
2005年5月6日 (06.05.2005)

PCT

(10)国際公開番号
WO 2005/041344 A1(51)国際特許分類:
1/04, 5/02, 5/08, H01Q 13/02

H01P 1/162,

(21)国際出願番号:
PCT/JP2004/015483(22)国際出願日:
2004年10月20日 (20.10.2004)(25)国際出願の言語:
日本語(26)国際公開の言語:
日本語(30)優先権データ:
特願 2003-364962
2003年10月24日 (24.10.2003) JP

(71)出願人(米国を除く全ての指定国について): 株式会社村田製作所 (MURATA MANUFACTURING CO., LTD.) [JP/JP]; 〒6178555 京都府長岡市天神二丁目26番10号 Kyoto (JP).

(72)発明者; および

(75)発明者/出願人(米国についてのみ): 岡野健 (OKANO, Takeshi) [JP/JP]; 〒6178555 京都府長岡市天神二丁目26番10号 株式会社村田製作所内 Kyoto (JP). 永井智浩 (NAGAI, Tomohiro) [JP/JP]; 〒6178555 京都府長岡市天神二丁目26番10号 株式会社村田製作所内 Kyoto (JP). 平塚敏朗 (HIRATSUKA, Toshiro) [JP/JP]; 〒6178555 京都府長岡市天神二丁目26番10号 株式会社村田製作所内 Kyoto (JP).

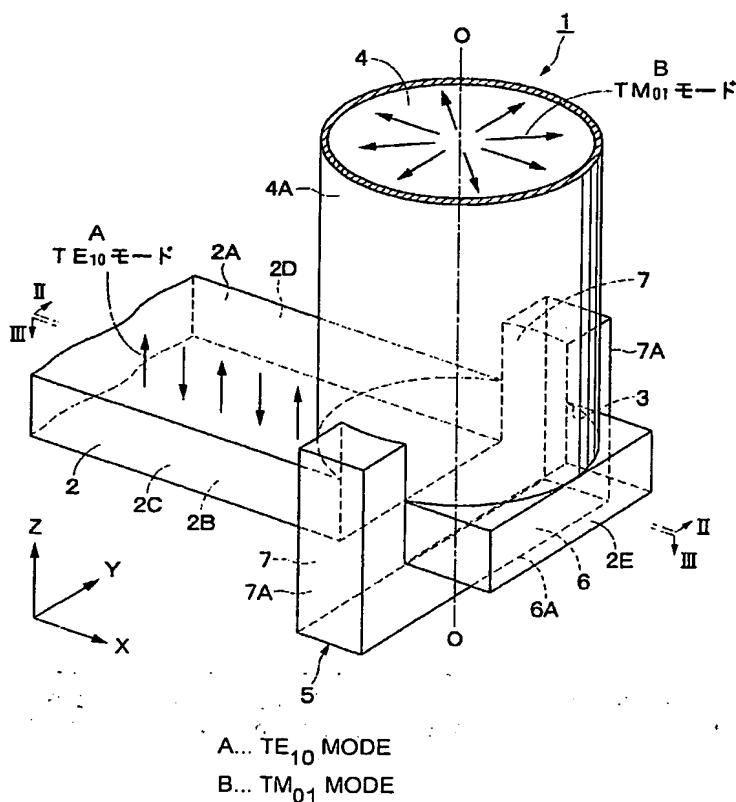
(74)代理人: 広瀬和彦 (HIROSE, Kazuhiko); 〒1600023 東京都新宿区西新宿3丁目1番2号 HAP西新宿ビル4階 Tokyo (JP).

(81)指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU,

(続葉有)

(54)Title: WAVEGUIDE CONVERSION DEVICE, WAVEGUIDE ROTARY JOINT, AND ANTENNA DEVICE

(54)発明の名称: 導波管変換装置、導波管ロータリージョイント及びアンテナ装置





ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.

(84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE,

IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:
— 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(57) 要約: 方形導波管と円形導波管とのモード変換部に不要な伝送モードの励起を抑える不要波抑制溝を設けることにより、必要な伝送モードの伝送効率を高める。方形導波管2と円形導波管4とを垂直に接続し、これらのモード変換部には、方形導波管2の管壁2B, 2C, 2Dと円形導波管4の管壁4Aとにわたって延びる不要波抑制溝5を設ける。これにより、不要波抑制溝5は、方形導波管2内を伝わるTE₁₁モードの電磁波によって円形導波管4内で不要なTE₁₁モードが励起されるのを抑制でき、TE₁₁モードへの変換損失を小さくすることができる。そして、円形導波管4内でTM₀₁モードの電磁波を効率よく励起でき、導波管2, 4の間で信号を安定的に伝送することができる。